

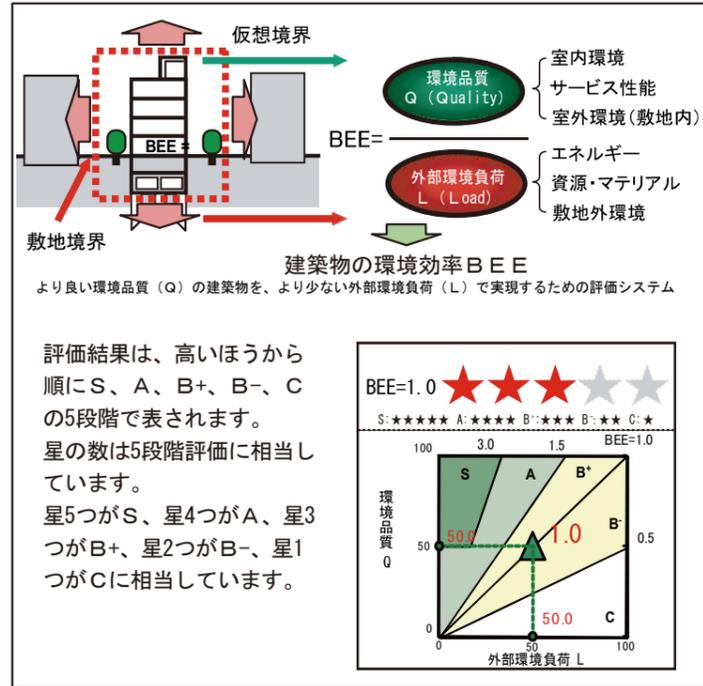
環境配慮の取組の評価基準

建築環境総合性能評価システム（CASBEE）は、平成15年に国土交通省、学識経験者など産官学の共同により開発されたシステムです。

CASBEEでは、建築物敷地境界等による仮想境界で区分された内外二つの空間を想定し、境界内部の建築物の環境品質に係る要素（Q：Quality）、境界を越えて外部に与える環境負荷に係る要素（L：Load）のそれぞれの環境配慮項目について取組を評価します。これらを統合し、建築物の環境効率（BEE）という数値を用いて、建築物の環境性能を総合的に評価するようになっています。

建築物の環境効率（BEE）は、環境品質（Q）を向上させ、また外部への環境負荷（L）を低減するほど高くなります。

CASBEEは「新築」「既存」「改修」など、いくつかのツール群で構成されていますが、このうち「CASBEE-建築（新築）」を基本として、川崎市の地域特性や関連する諸制度における取組を考慮して一部編集し直したシステムが「CASBEE川崎」です。



分譲共同住宅環境性能表示

■ 目的

分譲共同住宅環境性能表示は、特定（特定外）建築物のうち分譲共同住宅の環境性能に関する情報を、分譲共同住宅を購入しようとする方に提供するものです。川崎市が認証を与えるものではなく、建築主の自主的な環境配慮への取組結果を表示するものです。

■ 特定建築物であるもの

特定建築物のうち、分譲共同住宅の用途の建築物の販売を目的とした広告をしようとするときは、広告中に分譲共同住宅環境性能表示を表示し、その日から起算して15日以内に届け出てください。

■ 特定外建築物であるもの

特定外建築物のうち、分譲共同住宅の用途の建築物の販売を目的とした広告をしようとするときは、広告中に分譲共同住宅環境性能表示を自主的に表示することができます。表示した日から起算して15日以内に届け出てください。

■ 標章（ラベル）

建築物環境計画書の取組状況の評価結果（CASBEE川崎による評価結果）に基づいて6つの項目によって示されるレーダーチャートと星印（★）の数によって示される総合評価結果により、標章（ラベル）に環境性能を表示します。



- ★★★★★・CASBEE川崎による総合評価結果のランクCに相当
- ★★★★☆・CASBEE川崎による総合評価結果のランクB-に相当
- ★★★★☆・CASBEE川崎による総合評価結果のランクB+に相当
- ★★★★☆・CASBEE川崎による総合評価結果のランクAに相当
- ★★★★☆・CASBEE川崎による総合評価結果のランクSに相当

CASBEE川崎

環境配慮の取組を促し、その概要を公表する制度です。

建築物環境配慮制度は、川崎市の基本構想に掲げる「環境に配慮し循環型のしくみをつくる」という政策の基本方向に沿って、サステナブル（持続可能な）建築物を普及促進するため、建築物の建築に際し、建築主に対して環境への配慮に関する自主的な取組を促し、地球温暖化その他環境への負荷の低減を図ることを目的として創設しました。

本制度は、平成18年10月1日から実施しています。

平成24年10月1日から、床面積2,000㎡以上の建築物に対し、建築物環境計画書の提出が義務付けられます。

川崎市 建築物 環境配慮制度

●川崎市公害防止等生活環境の保全に関する条例●



川崎市まちづくり局指導部建築管理課

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地 市役所本庁舎18階
TEL 044-200-3026

<http://www.city.kawasaki.jp/jigyou/category/76-6-2-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

川崎市ホームページからアクセスしてください。



この印刷物は再生紙（古紙パルプ配合率100%）を使用しています。

